

1 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト

概要

デジタル技術を活用した生産性の向上や新たなビジネスモデル・サービスの創出を支援するとともに、今後大きな成長が見込まれるデジタル関連企業の誘致の推進、デジタル社会を担う人材の育成、技術流出防止等の経済安全保障対策の推進等の取組を通じて、本県の産業力を大きく伸ばす

重点施策

- 1 産業におけるデジタル化の加速
- 2 航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦
- 3 水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)	1	水中ロボット関連プロジェクト化件数(累計)
	★★★★(計画を上回る)	5	先導的プロジェクトによる未来技術導入件数 等
	★★★(ほぼ計画どおり)	1	光ファイバの世帯カバー率
	★★(計画を下回る)		
	★(計画から大幅に遅れ)	1	航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない
県民実感度調査(%)	デジタル技術を活用した県内企業の新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいると思いますか。	18.3	54.3	24.9

※そう思う：「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の計、そうは思わない：「そうは思わない」・「どちらかと言えばそうは思わない」の計(以下同じ)

(3) 主な取組と成果

◆産業におけるデジタル化の加速

- デジタル技術を活用した、新たな製品やサービスの創出に向けた取組への一貫支援を実施。(R7 年度支援数 2 件)

[支援事例]

予知保全 AI を搭載したポンプ設備の次世代型電気制御盤の開発

熟練技能者の視線データを活用した技能伝承システムの構築

- 中小企業の成長段階に応じた補助制度により、デジタルツールの導入からシステムの構築、先駆的な取組まで、企業のニーズや課題に応じた効果的な支援を実施し、**190件**(R7 年度)の**設備等の導入を支援**。

[中小企業DX推進補助金(先駆型)の支援事例]

金属製品製造事業者の効率的な資材の運搬を実現する「自動搬送ロボット」の導入支援

- デジタル技術を活用した新サービス等を創出する企業に対し、専門家派遣や補助金による支援を行い、**中小企業のIoT導入率を19.3%(R3年度)から28.4%(R7年度)に引き上げ**。

- **やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」**で、生成AIを活用した社内の研究知見を活かす仕組みづくりや作業手順書作成による作業標準化・ノウハウ継承等の支援を実施し、131件の課題を解決した。また、AIの利活用による業務変革や新事業創出の推進に向け、生成AIアカウント貸出による実証環境の提供やコンサルティングによるハンズオン支援など、**Y-BASEにおいて生成AIの利活用支援を強化**。

- 官民連携の**デジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」**における共創活動を通じた課題解決の取組を促進。
(事例) 地域資源継承・魅力発信プロジェクト、子ども食堂運営効率化プロジェクト 等
- AI やデザイン思考など **DX 創出に必要な技術・スキルを習得する実践的研修**を実施し、行政・企業等の内部で DX を推進することができる人材の育成・確保を推進(デジタル技術を活用できるリーダー人材の育成人数 80 人)。
- 「**山口県デジタル実装推進基金**」を活用して、産業分野における業務効率や生産性の向上につながる取組への支援など**デジタル実装の取組を推進**。
- アウトリーチ活動による技術流出防止意識の醸成。
技術流出防止意識の浸透率 98.6% (R7 年度)
- 先端技術情報を保有する県内企業・学術機関における危機意識向上及び自主的対策の促進を目的として、有識者を招へいた**経済安全保障セミナー**を開催。

◆航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦

- 宇宙利用産業の振興を図るため、山口県産業技術センターに設置した「衛星データ解析技術研究会」や「宇宙データ利用推進センター」において、技術者の育成に取り組むとともに、衛星データを活用したソリューションの研究開発を支援。
- 県が支援してきたスタートアップ企業による経済産業省の大型実証事業の採択をはじめ、衛星データの活用に関する **22 件のプロジェクトが国の実証事業に採択** (H29～R7)。

◆水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

- 水中次世代モビリティ関連産業の振興を図るため、山口県産業技術センターに設置した「水中ロボット技術研究会」において、セミナーやワークショップを開催し、技術認知度の向上や企業間の技術交流を促進するとともに、事業化に向けた技術シーズの獲得を目指して、国事業を含む **17 件のプロジェクトを組成** (R4～R7)。

[プロジェクト事例]

- ・ ASV を用いた有害赤潮の早期発見手法に関する実証実験
- ・ ASV による水域構造物の水中・空中画像統合 3D モデル化技術に関する実証実験
- ・ AUV による藻場調査の実用化検証
- ・ ASV と連携した潜水土の安全確保支援システムの生体信号計測に係る実証
- ・ ビーチ清掃ロボットの实証実験
- ・ シミュレーションを用いた小型水中航走体の制御技術に関する研究協力

(4) 総評

総
評

- 補助制度や専門家派遣等の支援により、県内中小企業の I o T 導入率が着実に向上するとともにデジタル技術を活用した新サービスの創出も概ね計画どおりに進捗している。
- Y-BASE を核とした DX の推進や DX 推進に必要なリーダー的人材の育成などを通じて、様々な主体のデジタルを活用した課題解決の取組が進むとともに、「山口県デジタル実装推進基金」を活用したデジタル実装に向けた取組が着実に推進されているが、AI をはじめとしたデジタル技術が急速に進化しており、AI を利活用した業務変革など、地域における AX/DX の実現に向け、取組のさらなる促進が求められている。

(5) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

◆産業におけるA X / D Xの加速化

- 新たなビジネスモデルの構築による付加価値額の増加や省力化等による生産性の向上に向け、幅広い地域や業種でのA X / D Xの取組を加速化する。
- 多くの県民の皆様が、デジタルによって社会や暮らしが変わったと真に実感できるよう、「山口県デジタル実装推進基金」を活用したデジタル実装の取組の更なる推進を図るとともに、自動運転技術など先端技術の導入やデジタルによる中山間地域等の暮らしの充実など、人口減少に伴う地域の社会課題の解決に向けて、実装ハードルの高い取組にも積極的に挑戦し、その取組モデルを県内に普及していく必要がある。
- 関係機関・団体を通じた先端技術保有企業の実態把握を推進しつつ、企業や学術研究機関のニーズに応じたより説得力のある手法・素材を用いた情報提供活動が必要である。

◆航空機産業・宇宙ビジネスへの挑戦

- 宇宙利用産業の社会実装を進めるために、各分野のニーズに対応した支援を進めるに当たっては、AI やIoT といった先端技術の活用を促進する必要がある。

◆水中次世代モビリティ関連産業の振興による新たなイノベーションの創出

- 水中次世代モビリティ関連産業の振興によるさらなるイノベーションの創出のために、水中次世代モビリティ単体ではなく、センサ、通信、データ解析など複合的な異分野の先端技術を融合した水域クロステックを推進する必要がある。

(参考) 令和8年度の主な新規・拡充取組

新 D X ・ロボティクス活用による生産性向上支援事業

中小企業のデジタル化やロボット導入を推進し、生産性の向上により中小企業の持続的な成長を促進

拡 生成A I 利活用支援強化事業

高度専門人材による生成A I 活用支援や、スタートアップ企業等と連携した先端事例創出、成果の横展開を通じて、企業等の業務変革を推進